

社会科学研究所報告

I 講演会

- 1991年1月18日 鮎川ゆりか氏 原子力資料情報室
 “Lessons from Chernobyl”
- 1991年1月28日 村上直樹氏
 名古屋聖霊短期大学 国際文化学科講師
 「明治期日本における身体をめぐる政治
 —M. フーコーの「生—権力」論と日本の近代—」
- 1991年2月19日 C. Douglas Lummis 氏
 津田塾大学 国際関係学科教授
 “Japanese ODA in the Philippines”
- 1991年4月11日 Theodor Leuenberger 氏
 スイス・ザンクトガレン大学教授
 技術マネジメント研究所所長
 “From Little Europe to Greater Europe”
- 1991年6月10日 John D. Kasarda 氏 ノースカロライナ大学
 ケナン企業経営研究所所長
 “Mega-Cities of the Third World; Challenges and Opportunities”
- 1991年6月21日 Robert C. Marshall 氏 ウェスタンワシントン大学
 人類学準教授
 “Between Hamlets and City Hall: Public Goods and Local Politics”

Ⅱ 人 事〔1990年10月～1991年6月〕

〔新任〕

小 泉 仰	(所員)	歴史学	1991年4月
功 刀 達 朗	(所員)	国際協力論	1990年10月
斯 波 義 信	(所員)	歴史学	1991年4月
K. A. Shire	(所員)	政治社会学	1990年12月
J. H. Wasilewski	(所員)	国際コミュニケーション論	1990年10月
H. Akhter	(研究員)	行政学	1991年4月
高 山 一 義	(研究員)	開発経済学	1990年12月
衛 観 清	(研究員)	国際マーケティング	1990年12月
P. Boonpala	(研究助手)	開発社会学	1990年12月
L. Lydens	(研究助手)	社会政策	1991年4月
R. Marshall	(研究助手)	文化人類学	1991年4月
☆D. Meagles	(研究助手)	国際経済学	1991年4月
☆森 亜 子	(研究助手)	国際法	1991年4月
太 田 育 子	(研究助手)	国際法	1990年12月
安 田 雪	(研究助手)	産業社会学	1990年12月

〔退任〕

D. McCornac	(所員)	貨幣金融論	1991年3月
慎 斗 範	(所員)	行政学	1991年6月
J. Øberg	(客員所員)	政治学	1991年6月
D. Thränhardt	(客員所員)	政治学	1991年6月
S. Kadirgamar	(研究員)	政治学	1991年3月
町 田 忠 治	(研究員)	経営学	1991年3月
A. S. Mchumo	(研究員)	国際法	1991年3月
中 西 徹	(研究員)	開発経済学	1991年4月
恒 吉 僚 子	(研究員)	比較社会学	1991年3月
和 智 綏 子	(研究員)	人類学	1991年3月

花 見 楓 子	(研究助手)	文化人類学	1991年 3 月
工 藤 博	(研究助手)	社会心理学	1991年 3 月

☆印は有給の研究員・研究助手

Ⅲ 刊行物リスト〔1991年10月～1991年 6 月〕

Working Paper Series

○Yuki Yasuda

“Seizing the Changes: The Japanese Market Structure 1970-1985”
(1991.1)

○丸山珠里・太田育子（共訳）

「『国家責任』に関する条約草案注釈 第二部」(1991.2)

○Dietrich Thränhardt

“Europe—A New Immigration Continent Policies and Politics Since
1945 in Comparative Perspective” (1991.5)

Ⅳ 公開シンポジウム

1991年11月15, 16日の両日, ニューヨーク大学日米経営経済研究センターとの共催により, 「変動する世界の中での日米関係」と題された公開シンポジウムをサンケイ会館において開催した。シンポジウムには, ニューヨーク大学及びICUの教員はもとより, 大河原良雄元駐米大使を始めとする外部からの多彩な講演者・パネラーの参加を仰ぐことができた。両日のプログラムは, 以下の通りである。

11月15日 (木)

〔開会挨拶〕

リチャード・R・ウェスト

(ニューヨーク大学 レナード・N・スターン ビジネススクール学長)

大口邦雄 (国際基督教大学学務副学長)

〔基調講演〕

司会：齋藤 眞（国際基督教大学）

「変動する世界における日米関係」

講師：大河原良雄（元駐米大使）

〔セッションⅠ〕

司会：横田洋三（国際基督教大学）

発表1：「反ダンピング法と貿易規制」

ポール・ワクテル（ニューヨーク大学）

ディスカサント：中内恒夫（国際基督教大学）

発表2：「日米関係のシナリオ：多元的アプローチ」

鈴木典比古（国際基督教大学）

ディスカサント：リチャード・R・ウェスト（ニューヨーク大学）

〔セッションⅡ〕

司会：藤田 忠（国際基督教大学）

発表3：「日米関係の将来：平和的選択」

安積仰也（国際基督教大学）

ディスカサント：C・ダグラス・ラミス（津田塾大学）

発表4：「生産性向上への新たな道：日米経験と模索」

オスカー・オナーティ（ニューヨーク大学）

ディスカサント：神代和俊（横浜国立大学）

11月16日（金）

〔セッションⅢ〕

司会：功刀 達朗（国際基督教大学）

発表5：「日本の貯蓄推計：新データと展望」

ロバート・デックル（ボストン大学）

ディスカサント：堀 元（東北大学）

発表6：「日米貿易摩擦への比較法文化的視点」

石黒一憲（東京大学）

ディスカサント：トーマス・M・グータボック（バージニア大学）

〔パネルディスカッション〕

司会：木村憲二（国際基督教大学）

「変動する世界における日米関係」

パネリスト：デヴィッド・グッドマン（イリノイ大学

アーバナ・シャンペイン校）

平野次郎（日本放送協会）

池間 誠（一橋大学）

オスカー・オナーティ（ニューヨーク大学）

佐藤隆三（ニューヨーク大学）

〔午餐会・特別講演〕

司会：リチャード・R・ウェスト（ニューヨーク大学）

「アメリカは日米関係の発展のために何ができるか」

講師：ジェームズ・ファローズ（アトランティックマンスリー誌

・ワシントンエディター）

V 三鷹まちづくり研究会

『三鷹市と国際化——新次元への飛躍——』（第一分科会）、『三鷹市のコミュニティがめざす新たな課題を求めて』（第二分科会）、『豊かな高齢化社会の創造——「食」環境・保健福祉の連携・高齢者住宅——』（第三分科会）と題する報告書を1991年9月に刊行する予定である。また、1992年度より情報化を研究する分科会が加わることとなっている。